

民進党・無所属クラブ
幹事長 石田しんご

○はじめに

平成 29 年度は、7 月の東京都議会議員選挙執行にあたりメンバーの一人が辞職しましたので、第一四半期（4 月～6 月）までは 6 名でしたが、それ以降は 5 名の議員で会派を構成し「民進党・無所属クラブ」として活動した。会派の重点は毎年開催している「次年度に向けての予算要望ヒアリング」である。地域のご意見、ご要望を実現するため引き続き取り組んで行く。

また、水辺は品川区において観光資源の一つであり、その利活用が求められている中、大阪の道頓堀川における舟運事業等を視察した。

地域や団体等がそれぞれ抱えるご意見やご要望を各メンバーが問題意識を持ちそれを共有し調査研究を行い、それぞれの質問等に活かし、今後も政策実現のため積極的に活動する。

○調査研究・研修活動等

前述したように道頓堀川における舟運（とんぼりリパークルーズ）について視察を行った。リパークルーズでは、ライトアップしている 9 つの橋脚を船上より観覧し往復してくるルートであり、水辺を活用した舟運事業である。国内外を問わず多くの観光客で賑わいを見せていた。河川と並行しているボードウォークや付近の路上、飲食店等の一体感を垣間見ることが出来た。こうした賑わいを創出するまちづくりは積極的に行っていかななくてはならない一方で、海上運送事業法の緩和や一帯をさらに盛り上げる施策は必要であろう。

舟運事業においては、河川・水辺・陸地における総合的なまちづくりの必要性を改めて強く感じた。今回の視察を最大限活かし、東京 2020 大会に向けて、それ以降も区民に愛される水辺空間の創出に取り組みたい。

○区民・地域団体から意見聴取

区内各種団体との意見交換の場を設け政策要望の聴取のほか、町会・自治会・商店街、任意団体、スポーツ団体、民謡団体等の幅広い団体が主催するイベント等に積極的に参加し、それぞれ団体の抱える課題、問題意識等を共有し聴取に努めた。また、団体のみならず、地域に足を運び区民の相談や要望を聴取した。これらを基に会派で取り纏めを行い、平成 30 年度に向けた予算要望書を区長に提出するとともに、各議員の質問等に活かした。

○広報活動

ホームページ（会派）や SNS（Facebook、Twitter 等）、広報紙（区議会レポート等）等を積極的に活用し、区政や議会の活動内容等を発信し、区民に開かれた議会を目指した。

○おわりに

平成 30 年度も引き続き、会派メンバーがそれぞれ課題等に対し問題意識を持ち、また得意分野を生かし、区内の幅広い団体や区民の意見聴取を積極的に行うとともに、各施策で成果を上げている先行政等（民間含む）の視察、研修、講習会等に参加し、施策の実現を目指し活動していく。